



東小だより

教育目標

- ・明るく 助け合う子
- ・進んで考え 学ぶ子
- ・からだをきたえる子



令和7年6月3日

No. 3

..... 6月に入りました（水無月 = 水の月）

6月は和風月名で「水無月（みなづき）」とよばれ「水の月」という意味があるそうです。これから梅雨の季節に入っていき、曇り空や雨の日は何となく気分もすっきりとしないことがあります。この季節の雨が、私たちの生活や動物や植物にとって、とても大切なものとなります。あたりを見回すと、麦の穂も色づき、早いところでは田植えの済んだ水田も見られます。子どもたちは今、アサガオやなす、ピーマン等に、毎日水をあげて世話をしています。花や野菜もすくすくと生長しています。ジメジメした雨模様の日も多くなっていきますが、植物の生長を感じつつ、水無月の季節感も味わいながら、生き生きと学校生活を送ってほしいと考えています。

5月のできごと

◎ 防犯教室 ◎

2年生と3年生で防犯教室を実施しました。大泉警察署スクールサポーターと県庁の防犯推進員の方が講師となって、「もしも、不審者に遭遇したら…」 「どうやって助けを求め、どのように逃げたらよいのか」等について、実際に声を出したり、3年生は、大声を出したりランドセルを落として逃げたりする練習を行いました。体験活動もあって、とても有意義な防犯教室となりました。



★ 高校生との交流授業 ★

5月15日・16日と、西邑楽高校の高校生との交流授業が行われました。15日は野球部の生徒さんが来校し、「ボール投げのコツや練習方法」等について一緒に活動しながら教えてくれました。また、16日は陸上部の生徒さんが「走り方のコツ」



「スムーズなバトンパスの方法」等について教えてくれました。日々部活動で体を鍛えたり専門的に競技に取り組んだりしている高校生との交流授業は、5・6年生の児童にとって、とても勉強になったことと思います。今後も、バレーボール部、サッカー部等との交流授業も予定されています。

◇ 前期 学校計画訪問 ◇

5月19日、東部教育事務所と大泉町教育委員会から指導主事の先生をお迎えして、前期の学校計画訪問が実施されました。2時間目・3時間目と公開(参観)授業を行い、午後にはそれぞれの授業研究会を実施しました。研究会では公開授業について、よかった点や課題、どのように改善していくとよりよい授業となるか等について、教員同士で協議や意見交換を行いました。教育事務所・教育委員会の指導主事の先生方からは、授業や本校の研修などについての指導や助言をいただきました。子どもたちが、充実感や達成感を味わえる授業を目指し、これからも継続して授業改善に取り組んでまいります。



◆各学年の修学旅行◆



5月には、1・2・3・4・6年生が修学旅行へ出かけました。1年生は桐生が岡公園、2年生は向井千秋記念科学館、3年生はぐんま昆虫の森、4年生は県立自然史博物館と富岡製糸場、6年生は国会見学・八景島シーパラダイス・鎌倉方面でした。

それぞれの学年が、クラスや学年の友達と交流を深めながら、学校の教室では学べないことを体験したり経験したりし、思い出に残る旅行となりました。

特に6年生は、小学校生活最後の修学旅行でしたが、自分たちで行動計画を立て、工夫したり協力したりしながら、班別行動をしっかりと行っていました。

(なお、5年生は、6月5日～6日に林間学校へ出かける予定です。)



「朝礼」での話

5月20日の朝礼では、「日常五心」…「いつでも大切にしたい五つの心」について話をしました。

【講話の内容（概要）】

いつでも大切にしたい「五つの心」

◇一つ目…「はい」という「素直な心」

気持ちのよい「はい」という返事からは、とても素直な気持ちが伝わってきます。「はい」という返事は、「自分がここにいるよ」ということも表しています。素直な心はとても気持ちがいいです。

「はい」という
素直な心
「すみません」という
反省の心
「わたしがします」という
奉仕の心
「おかげさま」という
謙虚な心
「ありがとう」という
感謝の心

◇二つ目…「すみません」という「反省の心」

反省ができる人は、同じ間違いを繰り返さない心に誓って成長していきます。「すみません」という言葉には、失敗を成長に変えていく力があると思います。

◇三つ目…「わたしがします」という「奉仕の心」

「(周りの人のために) 私がします」、「役に立つことをさせていただきます」という奉仕の心です。奉仕はボランティアとも言いますが、学校やみんなの社会のためになるし、自分の成長にもなります。

◇四つ目は…「おかげさま」という「謙虚な心」

自分より周りの人のことを考えたり、周りの人を大切にしたりする心です。周りの人のおかげで今の暮らしが成り立っているという謙虚な心は、日本のよさとして世界からも認められています。

◇最後の五つ目…「ありがとう」という「感謝の心」

「ありがとう」という言葉は、自分も相手もいい気持ちにします。感謝の心が伝わると、相手の人の心も優しくなります。「ありがとう」は、みんなが仲良く、優しくなれる魔法の言葉です。

「素直」・「反省」・「奉仕」・「謙虚」・「感謝」の「大切な五つの心」を、自分の言葉や態度・行動で表すことで、人として成長し、幸せな生き方にもつながっていくと思います。

自分だけでなく、周りの人も幸せにする「五つの心」です。

いつでも、どのようなときでも、この「五つの心」を忘れずに生活すると、自分の人生がきっと豊かになっていくと思います。



★東小学校ホームページもご覧ください。

大泉東小学校

で

検索

「学校活動」のコーナーでは、様々な活動の様子について、随時更新しております。